

経過

1. 2~3年前より、現役より、部員の増員により要望があり、学生生活支援グループに提出している。
2. 2020年1月8日 吉村副学長、田中リーダー、森川主査の皆さんと面談
羽倉先生、 柚木会長、大久保事務局長、土屋監督、沖田、現役3名が訪問

面談内容

- ① インカレ6位入賞の報告 (国立大学入学から始めた学生が、強豪の中 スナイプ級6位に入賞)
- ② 船齢の件 各大学は3艇の船齢をたして7年(船齢)以上が原則、広大は29年・船齢
- ③ 救助艇(しぶき)修理の件
- ④ 研修棟増設のお願い (女子部員の増加に伴う増設)
- ⑤ 大阪大学にみられる寄付の件 (広島大学もこのシステムができることの要望)
- ⑥ ヨット艇の広告(スポンサー) また、ロゴの件など

3. ④の増設について、可能かどうか、を調べることになる。

(株)ひろしま港湾管理センター、広島県広島港湾振興事務所 を訪問
研修棟の増設については、問題がなく、了解を得られる。

4. 1月31日 森川主査を訪問 県、管理センター、広島県セーリング連盟は増設に関して、問題がないことを報告する。

森川主査より、学長の了解がなくては、実現しない。学長の了解を得る方を考える必要がある。

5. 2月5日 山根会長(体育会同窓会会長)を訪問

学長を説得するには、OB会の協力が必要、(案) 研修棟増設基金を集め、大学に寄付をする。

6. 増設の予想金額 1500万~2000万円

7. 増設図(下部)

8. ヨット部OB(しぶき会)で、いくら集めるか また、しぶき会の先輩基金を使わせてもらうか?

9. 目標金額 2000万円

10. 2月29日体育会同窓会にて、学長に嘆願

